

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 海津特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月29日(木) 13:15～15:00
- 3 開催場所 海津特別支援学校 会議室
- 4 参加者

会 長	児玉 泉	民生委員(主任児童委員)
副会長	大橋 恵美子	共同生活援助れんげの家 所長
委 員	六鹿 正規	海津市商工会 副会長 (欠席)
	細井 豊年	海津市平田町今尾地区 旧区長
	菱田 とよ	海津市更生保護女性会 会長
	山本 隆之	障がい者センター あいさんハウス・ぎふ施設長
	棚橋 理恵	輪之内町発達支援教室そら 児童発達支援管理責任者 (欠席)
	大西 菜保美	海津特別支援学校 PTA会長
学 校 側		
	井上 真典	校長
	岡田 里香	教頭
	岩田 成生	事務長
	高田 亜希子	小学部主事
	竹村 いづる	中学部主事
	橋田 直也	高等部主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 児童生徒心得の改定について(教頭)

(2) 各部の成果発表について(各学部主事)

(3) 今年度の学校運営報告と次年度に向けて(校長)

(4) 委員からの意見

①児童生徒心得の改定について

意見1:体操服が受注生産から既製品へ変更することによって、どの店舗でも購入できることになる。各自で購入するのか。

⇒はい。

②各部の成果発表について

意見１：どの部も、児童生徒の一年の成長や頑張りが伝わる発表であった。（複数）

意見２：教員が児童生徒に寄り添い、明るく指導に当たっている。（複数）

意見３：子どもの高さに教員が合わせたり、椅子の補助に関して一人一人に工夫されたりと、支援が素晴らしい。

意見４：廊下、部屋の入室・退出時、いつでもどこでも気持ちの良いあいさつができる。

意見５：高等部は「愛・仲間・夢」というスローガンを掲げ、１年間取り組んできた。社会に出ていく生徒、地域に愛される人を目指し頑張ったことがよく伝わった。現場実習で得たことが喜びとなり、自信をつけ、胸をはって生きていけるという言葉に感銘を受けた。

意見６：中学部は、できるようになったことを一人一人発表した。特に、できないことから逃げずに自分で頑張っていくという姿が素晴らしい。

意見７：小学部の発表は、視覚教材の扱い方が素晴らしい。どの学部の教員も習得してほしい。

③今年度の学校運営報告と次年度への改善について

意見１：小・中・高の連携した指導の目標を分かりやすく改訂されたことは、大変素晴らしい。（複数）

意見２：学校の方針、具体的な目標等、自身に関わる施設の参考にしたい。

意見３：昨今、児童青年による様々な事件が起こる。その原因の一つとして、児童生徒と教職員の距離ができていると考える。しかし、本校は児童生徒と教職員との距離が近く、安心できる。

意見４：今後の取組として、管理当番の廃止や不審者対応の提案は素晴らしい。

意見５：少子化が課題であったが、近隣区域の就学が可能となることで、活性化されていくことを期待している。

意見６：地域公開研究会等を行うことで、地域の情報発信者としての役割を担い、障がい児教育を浸透させてほしい。

③その他

意見１：特別支援学校は、県立であるが、就学区域はあるのか。

⇒ある。本校の就学地区は、海津市と輪之内町である。次年度、近隣の地区の希望者は、本校に就学できるようになった。

意見２：現在、音楽部と運動部があるが、融合していくことはできないか。

⇒今後、検討する。

意見３：学校の防災備蓄品を確認し、今後の対策を一緒に考えたい。

⇒はい。

意見４：家庭では、親子の関わり方を工夫している。委員、教職員に支えられ、感謝している。

6 会議のまとめ

- ・児童生徒心得の改定については、承認を得た。
- ・今年度の各部成果発表及び今年度の学校運営報告と次年度への改善について、学校運営協議会委員より多くの意見を得た。この意見を参考に次年度の学校運営を進める。